

小説を読む楽しさを、英語で



畑中杏美准教授

「イギリス文学」について。今回は「みなさんは英語で書かれた小説作品を読んだ経験がありますか？もしかすると、英語に對して苦手意識を持つ人もいるでしょう。また、日常的に本を読む機会が少ないという人もいるのではないでし



イラスト・弘前大学教育学部 ひつじ玲汰

自分の視点で解釈を

探究心旺盛な小中高生の皆さんに向けて、弘前大学の先生たちのユニークな研究を紹介しようか？

「英語が苦手でも…日本語で書かれた小説は読んでいくと、意外と『さまさま』に気が付くことができます。弘前大学の畑中杏美先生は、英語で書かれた小説作品を研究しています。



((22))

「なることや、海外の作品に触れることにより新たな世界を発見できる機会にもなりませんか？」
 実は、英語を母語としない人は、英語を母語とする人が普段読み流してしまうようなやさしい事柄に気が付くことができる視点を持つ

ているのです。そのため、英語が苦手でも時間をかけ少しずつ作品を読んでいくと、意外と『さまさま』に気が付くことができます。弘前大学の畑中杏美先生は、英語で書かれた小説作品を研究しています。

『ジェイン・エア』は、主人公ジェインが、自らの子供時代から教師となり、愛する人と結ばれるに至るまでを語った作品で、彼女の悩みや苦しみが彼女の自身の言葉で語られています。一人の人間として社会へ出ていくこととする中で困難にぶつかる彼女の苦悩は、今

でも、ごく身近なものと考えることができ、現代社会の状況と重ね合わせて読むことができます。先生の研究の魅力は、小説作品を読んで面白く感じたこと、まらなと感じたことなどを、自分なりの視点から切り取り、解釈して考えるという過程は難しいものですが、その過程を長く続けていけばいくほど面白さが増してきます。

「英語で書かれた小説の中には、独自の視点で小説作品を読んでいたが、「面白い！」と思える作品と出会ってほしいと思っています。最後に、畑中先生からのメッセージ
 英語で書かれたイギリス文学の世界にしか存在しない人物の経験など、現代の日本社会を生きていく私たちの参考にはならないと思う人もいるかもしれませんが、しかし、作品に触れることで現代にも共通する課題があることに気が付き、逆境に打ちぬされながらも、めげずに前進していく主人公の姿を描いた作家の心境を想像することができます。

自分たちが生きる世の中にとつての課題を、過去に書かれた作品に見出していくと、きっと面白い発見があるはず。英語で書かれた小説を読んで考える楽しさを



ゼミの授業風景

を通して、一緒に学びましょう！
 第22回の先生畑中杏美 准教授
 「人文社会科学部/イギリス文学研究室」
 ■研究のなしてを、紹介！

ひろだい探偵団は新年度も引き続き、本学の先生たちの面白い研究を紹介していきます。また、これまでの記事のバックナンバーもご覧ください。左の二次元コードからどうぞ。次の掲載は令和5年8月28日、「稀有な疾患を引き起こすアミノバ(仮)の「なして？」」をお伝えします。お楽しみに。



(担当) 弘前大学研究・イノベーション推進機構、ライター：人文社会科学部社会経営課程地域行動コース4年 木村愛華

※この画像は、当該ページに限り陸奥新報の記事利用を許諾したものです。
 転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。 令和5年7月24日 陸奥新報掲載